2021.04.23　総会報告資料

ASK歩く会
近所のお散歩(2)
小野路散策

世話人(金作・原田・大出・稲田)

開催日　　2020年11月20日(金)　曇り

出発　　新百合ヶ丘駅

　　午前　9時30分

解散　　午後　1時30分(小野神社バス停)

参加者　　14名

コース

新百合ヶ丘駅 ⇒鶴川駅北口⇒(バス)小野神社前⇒

⇒旧小野路宿⇒布田道⇒関谷の切通し⇒

分岐点⇒妙桜寺への道 ⇒横山の道⇒分岐点

⇒関谷の切通し⇒小野路宿里山交流館(昼食)

⇒小野神社⇒万松寺⇒小野路城方面の里山

⇒小野神社前(解散)

コロナ禍の歩く会

・手洗い、マスク着用、体調管理を各自で守り

・ある程度自粛も継続しながら、３密を避け

・健康維持のため、なるべく近場で人出の少ない場所を散歩する

小野路

町田市北部に位置し、多摩丘陵内の緑豊かな地域で、都内有数の里山地域である。江戸時代には大山街道の宿場町として栄え、小野路宿通りは当時の雰囲気を現在に残している。また、地域内には中世前期のものと推定される小野路城址があり、周辺は図師小野路歴史環境保全地域に指定されている。

鶴川駅(北口)を出発

マスク着用でさあ出発！

多摩センター行バスに乗車

小野神社前へ向かう

旧小野路宿

鎌倉街道上ノ道の多摩丘陵越えの中間に位置する宿場町。鎌倉時代から室町時代にかけて丘陵越えの休憩地としてに賑わった。戦国時代には一旦寂れたが、江戸時代になると大山往還の道筋として再び栄え、幕末には6軒の旅籠屋があった。

布田道で関谷の切通しへ向かう

布田道(ふだみち)

江戸期の小野路と布田を結ぶ「布田道」

江戸時代に小野路と布田を結んだ道で、総延長距離はおよそ13kmあった

関谷の切通し

当地の有力御家人だった小山田氏が関所を構えていた場所

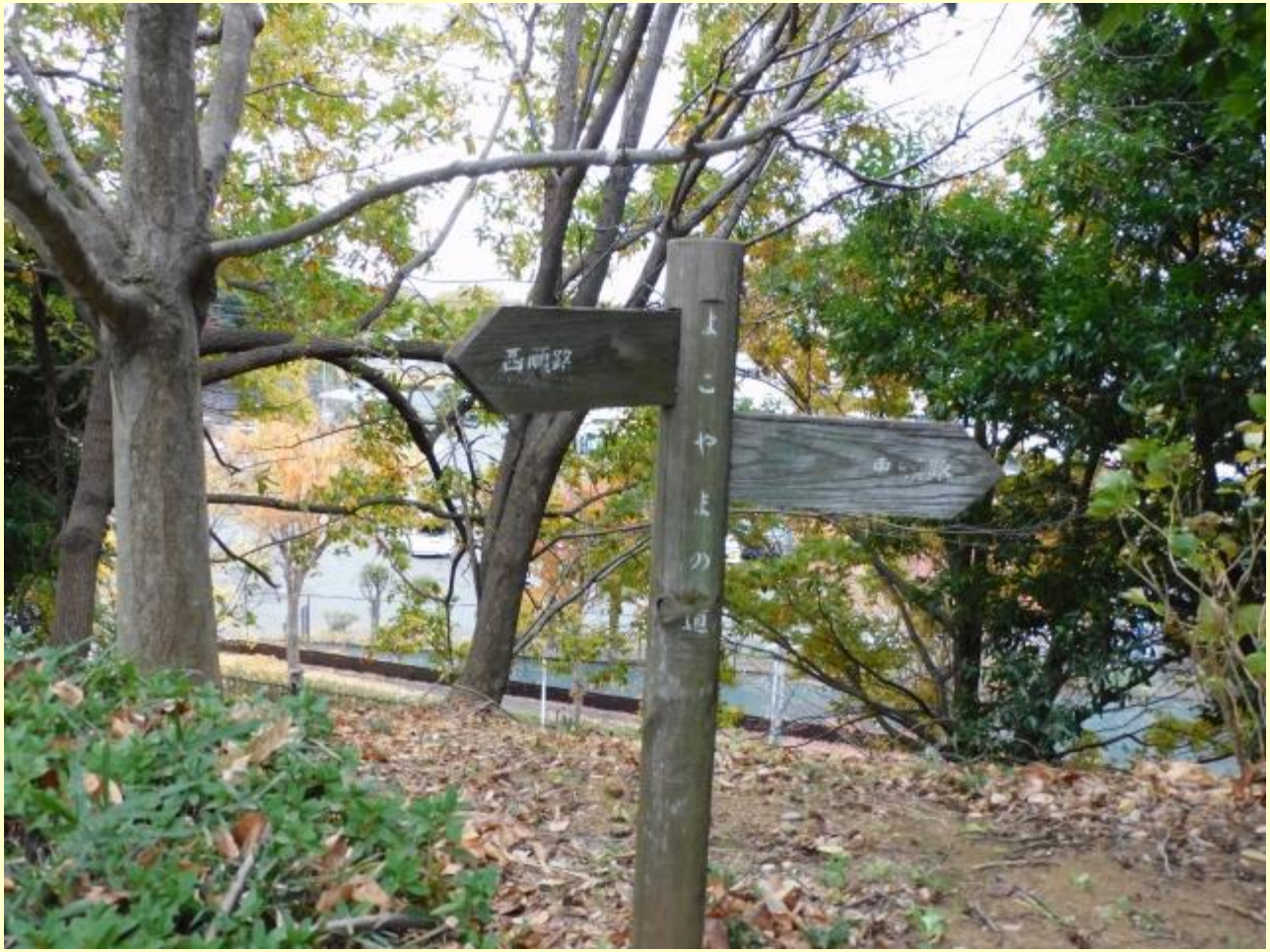
分岐点

布田道から別れて、妙桜寺へ向かう

妙桜寺への道

なだらかな坂道を登る

横山の道



横山道から階段を下りる

途中風景

途中風景

関谷の切通し(帰り道)

小野路里山交流館(昼食)

昼食風景

小野路うどん(日替わり小鉢付) 560円

コロッケは会費でおごり

昼食風景

密にならないように・・・・・

小野路神社

小野路町の鎮守。小野路の地名は多摩郡小野郷（現府中市）への道筋という意味に考えられている。小野郷との関わりで式内社（しきないしゃ）小野神社が当地に勧請されたのが始まりといわれ、小野路村誌によれば元慶8年（884）の勧請、とある。

境内のもみじと銀杏

紅葉真っ盛り

追加の行程　万松寺参拝

臨済宗建長寺派・小野山萬松寺（ばんしょうじ）。創建は不詳であるが開山の僧宗興は室町時代前期の永徳2年（1382）に没した、と伝わっている。

小野路城方面を眺める

里山風景を堪能

お土産のコロッケ

またまたコロッケ

この後、鶴川方面と多摩センター方面に分かれて小野神社前からバスに乗り、帰路につきました

ご静聴有難うございました

新型コロナウイルス感染状況を見ながら

近所のお散歩を行います

早くコロナ禍が落ち着くと良いですね